

# SDGs 新聞

## 電車で地球を守ろう!

### 東京メトロ

2050年CO<sub>2</sub>排出量削減目標に向け、再生電力の活用、一部駅への太陽光発電システムの設定、エネルギー効率の良い車両を使用するなど、「安心・持続可能な社会」の実現に向け取り組んでいる。



### 京王電鉄

車内の洗車時における節水が行われ、京王線岩葉台工場には処理水の再利用装置が導入され、使用済みの水の汚れ除去等が行われている。

### 東武電鉄

2022年4月から、日光鬼怒川エリアで使用する電力を再生可能エネルギーに置き替えることを発表し、沿線自治体と手を組み環境負荷ゼロを目指す取り組みを行っている。

### 東急電鉄

世田谷線において水力地熱のみで発電した電気を使用する日本初となる運行を開始した。

### 東武電鉄

2023年8月1日、2023年3月1組、3年1組、穴戸小春

### 小田急

再生電力の活用、都心部の駅には太陽光発電パネルや地中熱ヒートポンプシステムの省エネ設備の設置、箱根口1つりユイ大涌谷駅には風力発電システムを設置するなど地域特性に合わせた取り組みを行っている。

## ここにもSDGs! 電車のリサイクル

おあそびの人のせいで活躍した車両も、いざれ時期が来ると引退して、新しい車両と交代します。そんな引退した車両はどのようなのでしょうか。かりと造られた日本の鉄道車両は引退したとしてもまた使えること、かよくあります。車両を新しくつくるのはとてもお金がかかるため、地方の鉄道会社では、都市部で引退した車両を譲り受け、自分の会社

オスヌメ駅弁  
崎陽軒  
シウマイ弁当



おいしい! みんなも食べてね  
おみん食

## 2023年大ニュース! 相鉄線・東急直通線 開業

2023年3月1日に「相鉄横浜線・東急新横浜線」が開業しました。相鉄と東急が両者の新駅「新横浜駅」をつなぐことで、相鉄本線/いずみの線/東急東横線/目黒線/東京メトロ南北線/相鉄心線/都立三田線/埼玉高橋線/相鉄線/東武東上線による直通運転が開始しました。新幹線の利用やスローポイント、コンビニ等がより多く開業される新横浜へは、相鉄線からだけでなく、これまで乗換が必須だった東急線からのアクセスも向上し、都心のネットワークが更に拡大すること、より便利になりました。



中には海外に渡り、現地の鉄道として活躍する車両もあります。そうした機会がなく、車両としての役目を終えた場合は一旦金属ゴミとして分別のものを作るために利用されます。東京メトロ東西線には使われなくなった車両の素材を使用したカップルミリサイクルワイカーがあります。

